



重点戦略のテーマイメージ

資料 3-2

重点戦略 1 (案) 魅力を生かす ※4つの強みと地理的優位性を合わせた「5つの魅力」それぞれを生かすことで、将来都市像の実現を目指す。

<p style="text-align: center;">魅力1 環境</p> <p style="text-align: center;">(案1) さいたま発・環境共生都市 さいたま流・環境共生都市 (案2) 身近に自然とふれあえる環境共生都市</p> <p>《伸ばしたい強み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏にありながら豊かな自然資源を有する（見沼田圃・荒川・元荒川による緑の骨格、緑地や水辺、多様な生物など） ・見沼田圃の治水機能・防災機能 ・「次世代自動車・スマートエネルギー特区」（平成31年度で終了）としての実績 ・政令市中最多の快晴日数 <p>《市民の声》</p> <p>都市と自然がバランスよく共存、水と緑に恵まれている</p> <p>《重点ポイント（強化）》</p> <p>◆首都圏有数の自然環境の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見沼田圃の次世代への継承 <p>◆脱炭素社会に向けた持続可能なスマートシティの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの積極的導入 ・電力の地産地消 	<p style="text-align: center;">魅力2 健康</p> <p style="text-align: center;">(案1) 健康快適都市 健康充実都市</p> <p>(案2) 健康寿命の延伸を目指して～地域と共に、一人ひとりが健康づくり～</p> <p>《伸ばしたい強み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康意識の高さ（生活習慣病による死亡者数3位、健康診査受診率2位、要介護等認定率2位） ・歩きたくなるまちづくり <p>《市民の声》</p> <p>平らで歩きやすい、健康寿命を延ばすことが大事</p> <p>《重点ポイント（強化）》</p> <p>◆ライフスタイルやライフステージに応じた健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した科学的根拠に基づいた健康づくり ・「健幸」で元気に暮らせるまちづくり 	<p style="text-align: center;">魅力3 スポーツ</p> <p style="text-align: center;">(案1) スポーツ交流都市 スポーツ体感都市 (案2) 世界が認める「日本一のスポーツ先進都市」</p> <p>《伸ばしたい強み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ観覧料4位 ・大規模スポーツ施設 ・Jリーグ2チーム、なでしこリーグ、女子プロ野球チームの本拠地 ・市民の週1回以上のスポーツ実施率の増加 ・（一社）さいたまスポーツコミッションによる誘致活動 ・さいたま国際マラソンの開催、ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの開催 <p>《市民の声》</p> <p>スポーツが盛ん、スポーツ施設が充実</p> <p>《重点ポイント（強化）》</p> <p>◆生涯スポーツの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で気軽にスポーツに親しむことができる機会の提供 ・スポーツを通じた地域コミュニティの形成・醸成 <p>◆スポーツを活用した総合的なまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカーを核とした「スポーツのまち さいたま」の発信 ・スポーツツーリズムなどによる観光、交流人口の拡大（市民参加型スポーツイベントの開催、民間力等を活用したスポーツ環境の整備）
<p style="text-align: center;">魅力4 教育</p> <p style="text-align: center;">(案1) 教育実践都市 未来人材育成都市 (案2) 未来を拓くさいたま教育</p> <p>《伸ばしたい強み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「将来の夢や目標を持っている」「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合（全国、大都市平均以上） ・全国学習状況調査実施科目の平均正答率トップクラス ・国に先駆けた英語でのコミュニケーションと主体的に行動できる人材の育成を目的とした「グローバル・スタディ」の推進 <p>《市民の声》</p> <p>教育水準が高い、教育熱心、文教都市</p> <p>《重点ポイント（強化）》</p> <p>◆未来を拓くさいたま教育で子どもの力を伸ばす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12年間の学びの連続性を生かした真の学力の育成 ・グローバル社会で活躍できる人材の育成 	<p style="text-align: center;">魅力5 「交通の要衝」と「災害に強い」2つの地理的優位性</p> <p style="text-align: center;">(案1) 交通結節都市×災害対応力強化都市 (案2) 東日本の対流拠点都市</p> <p>《生かしたい優位性（基本条件）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東日本の玄関口」となる交通結節点（新幹線の乗り入れ路線数6路線） ・「東北圏・北陸圏・北海道連結首都圏対流拠点」（首都圏広域地方計画における対流拠点への位置づけ） ⇒大宮駅グランドセントラルステーション化構想策定、東日本連携センター開設、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の進出拠点としての位置付け ・安定的な地盤で、大規模な自然災害が起こればいい <p>《市民の声》</p> <p>鉄道・道路の交通利便性、東京・各都市へのアクセスの良さ、災害が少ない</p> <p>《重点ポイント（強化）》</p> <p>◆国際的な結節機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本の交流拠点機能の強化 ・広域鉄道・道路網の強化 ・空港へのアクセス強化 <p>◆対流拠点機能の集積強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本の「ヒト・モノ・情報」の交流、発信 ・広域周遊観光ルートの構築 ・MICE誘致 <p>◆広域防災拠点機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時のバックアップ拠点機能の強化（広域防災拠点の要となる防災公園の整備） 	

重点戦略 2 (案) 課題に対応する ※本市が直面する課題に対応し、人口減少克服と地方創生および SDGs の推進により、持続可能なまちづくりを進め、将来都市像の実現を目指す。

<p>課題 1 人口減少・少子高齢化の進行への対応 (案 1) あらゆる世代が共に生きるまちの創造 (案 2) 全ての世代が健康で活躍できるまちづくり</p> <p>《問題点・弱み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団塊ジュニア世代が多く、今後急速に高齢化が進む見込み ・将来人口は 2030 年をピークに減少する見込み ・待機児童数が多い(保育園・放課後児童クラブ) <p>《市民の声》</p> <p>待機児童が多い、放課後児童クラブの不足、子どもの遊び場、高齢者や障害者への支援、高齢者人材の活用</p> <p>《重点ポイント(強化)》</p> <p>◆子ども・子育てを支える都市の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して妊娠・出産・子育てできる切れ目ない支援 ・子育てニーズに対応した多様な受け皿の確保と質の向上 <p>◆未来を拓くさいたま教育で子どもの力を伸ばす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12年間の学びの連続性を生かした学力の育成 ・グローバル社会で活躍できる人材の育成 <p>◆心身ともに健康的で安心して長生きできるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりによる介護予防の取組 ・ライフステージやライフスタイルに応じた健康づくり 	<p>課題 2 経済のグローバル化と技術革新の進展への対応 (案 1) 国内・海外での経済活動の強化・広域化 (案 2) 強い産業力の醸成と躍動するまちづくり</p> <p>《問題点・弱み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産年齢人口減少による産業の担い手不足 ・県内外との都市間競争の激化 <p>《市民の声》</p> <p>さいたま市のイメージ・特色・ブランド、東西や地域間の交通便利性、昔ながらの商店の衰退</p> <p>《重点ポイント(強化)》</p> <p>◆地域産業の振興と新たな産業の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成長分野におけるイノベーションの創出 ・創業の活性化に向けた環境づくり・商店街のにぎわい創出 <p>◆地域経済を支える人材の育成、就労支援及び魅力ある就労環境の整備</p> <p>◆国際的な結節機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本の交流拠点機能の強化 ・広域鉄道・道路網の強化・空港へのアクセス強化 <p>◆対流拠点機能の集積強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本の「ヒト・モノ・情報」の交流、発信 ・広域周遊観光ルートの構築・MICE 誘致 	<p>課題 3 安全・安心に対する意識の高まりへの対応 (案 1) 市民の安全と安心を守るまちづくり (案 2) みんなでつくろう、誰もが安心に暮らせる災害に強く、しなやかで安全なまちづくり</p> <p>《問題点・弱み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模自然災害による甚大な被害 ・高齢者の交通事故の割合の増加傾向 ・人口あたりの刑法犯認知件数が多い <p>《市民の声》</p> <p>災害への意識が希薄、道路が狭い、歩道がない、危険な交差点や道路が多い</p> <p>《重点ポイント(強化)》</p> <p>◆災害に強い都市基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災上の課題に応じた都市・生活インフラ等の整備 <p>◆地域と共に進める災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災意識と地域防災力の向上 ・消防・救急体制の充実強化 <p>◆安心して暮らせる都市の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の防止 ・地域と連携した防犯の推進
---	--	---

<p>課題 4 地球環境問題の深刻化への対応 (案 1) 環境に配慮した暮らしの実践 (案 2) 自然と共生し持続可能な環境を未来ある子どものために伝えるまちづくり</p> <p>《問題点・弱み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス排出量の増加 <p>《市民の声》</p> <p>節電や省エネに対する意識が低い、ごみの削減意識が低い、車がないと不便、駅周辺の渋滞</p> <p>《重点ポイント(強化)》</p> <p>◆脱炭素社会に向けた持続可能なスマートシティの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの積極的導入・電力の地産地消 <p>◆環境に配慮したライフスタイルへの転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の 3R(発生抑制・再利用・再生利用)の推進 ・過度な自動車利用から公共交通機関や自転車・徒歩への利用転換 <p>◆良好な生活環境及び自然環境の保全</p>

<p>課題 5 社会の多様性と市民活動の高まりへの対応 (案 1) 互いの尊重と地域での支え合い (案 2) 日頃から地域で支え合うまちづくり</p> <p>《問題点・弱み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズの多様化・高度化 ・家族や地域での支え合い意識の希薄化や「地域力」の低下 ・自治会加入率の減少 <p>《市民の声》</p> <p>外国人との交流、地域のつながりが希薄、地域活動参加者が少ない</p> <p>《重点ポイント(強化)》</p> <p>◆誰もが自分らしく暮らせる地域共生社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権を尊重する意識の醸成・多文化共生社会の推進 ・ノーマライゼーション理念の実現 <p>◆ふれあいのある地域社会の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民等の交流や自主的活動の促進 ・スクール・コミュニティによる連携・協働の充実 <p>◆生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市の創造</p>
